

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
分担研究報告書

認定がん・生殖医療ナビゲーターの教育プログラムと啓発による心理支援強化を目指した研究  
がん・生殖における遺伝カウンセラーの役割に関する実態調査

片桐由起子 東邦大学医学部産科婦人科学講座 教授

がん患者に対する集学的治療法の進歩に伴って、その治療成績はめざましく向上してきおり、小児・AYA(Adolescent and Young Adult)世代のがん患者の5年生存率は80%にまで達していると報告されている(Erdmann, 2021)。一方、小児・AYA世代がん生存者は、性別にかかわらず性腺機能の低下のリスクが存在する(van Santen, 2020)。小児・AYA世代のがん生存者は、妊孕性喪失に対する多岐・長期に渡る不安と苦悩が強いと報告されており(Gorman, 2010)、がん診断時から妊孕性に関する医療情報を提供し、サポートも行う、多職種連携による支援体制の構築が、がんサバイバーシップ向上の為に喫緊の課題となっている。多職種連携体制を担う専門職の一つとして、日本人類遺伝学会および日本遺伝カウンセリング学会により認定されている認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>が存在する。認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>は、周産期領域のみならず、若年発症のがんの背景として代表される家族性がん症候群等の遺伝性腫瘍に関わるカウンセリングや情報提供においても活躍している。そこで、令和4年度は、令和3年に引き続き厚生労働科学研究費補助金（がん政策研究事業）小児・AYA世代がん患者に対する長期生殖機能温存に関わる心理支援体制の均てん化および適切な長期検体温存方法の提案に向けた研究（20EA0401）：研究代表者 鈴木直において、小児・思春期世代がん患者に対する妊孕性温存療法の支援体制構築を志向して、認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>のがん・生殖医療へのかかわりの現状を把握することを目的として、「研究② 認定がん・生殖医療ナビゲーターの教育プログラムと啓発による心理支援強化を目指した研究」を継続した。令和4年は、日本がん・生殖医療学会に所属する医師に対して、認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>にがん・生殖医療に関する情報提供において期待することを追加調査として実施した。研究内容は Journal of Adolescent and Young Adult Oncology に投稿し、査読中である。

A. 研究目的

小児・思春期世代がん患者に対する妊孕性温存療法の支援体制構築を志向して、認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>が、がん・生殖医療のカウンセリングや情報提供に係っていくことを目指し、認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>のがん・生殖医療へのかかわりの現状を把握することを目的とした。

明らかにする目的で医師対象のアンケート調査も行った。日本がん生殖医学会に所属する医師（474名）を対象として、選択式アンケートを2022年11月にWEB上で行った。本研究は、東邦大学医療センター大森病院の倫理委員会での承認された研究(令和3年度実施（承認番号:M21141）の研究内容の追加として申請し、承認を得て実施された

B. 研究方法

医師が認定遺伝カウンセラーへ希望することを

C. 研究結果

がん・生殖医療の情報提供を主に行っている医

師が認定遺伝カウンセラーにがん・生殖医療の分野で期待することを知らるために医師向けのアンケート調査を行った。回答率は34%(n=161)。特に期待することはないは3%と少なく、遺伝性腫瘍についてのみならずがん・生殖医療に関連した内容を認定遺伝カウンセラーが情報提供するように期待する回答を多く認めた。

#### D. 考察

単一の変異遺伝子を受け継ぐことにより生じうる腫瘍である、遺伝性腫瘍は、現在、がんのリスクを一般集団の何倍にも増大させる約100種類の遺伝子が知られている。遺伝性腫瘍の患者は全がん患者の5%未満であるが、その遺伝学的基礎の同定は、本人の治療法の選択や健康管理のみならず、家系構成員の臨床的管理にも極めて重要である。日本の認定遺伝カウンセラー総数は318名(2021年12月現在)、人口10万人あたり2.5人であり、一方、米国の遺伝カウンセラー数は人口10万人あたり18人であり、米国のカウンセラー数に対し少ない。彼らは主に医療機関で遺伝性腫瘍や出生前診断などに関する遺伝診療や遺伝カウンセリングに関わっているが、がん・生殖医療にかかわる情報提供の担い手としても期待される。

#### E. 結論

医師を対象としたアンケートによっても、認定遺伝カウンセラーが、がん・生殖医療領域へ介入する期待が高く、特に遺伝性腫瘍患者に対する介入が期待される。

#### F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記入

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

タイトル: **A nationwide survey aimed at role of genetic counselors in oncofertility in**

#### Japan

Journal of Adolescent and Young Adult Oncology に投稿 査読中

##### 2. 学会発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

##### 1. 特許取得

なし

##### 2. 実用新案登録

なし

##### 3. その他

なし